

植物は会話している！

植物の匂い物質を活用して栽培された農作物ブランドと ヒト健康増進サプリメントの開発

2019 **7 / 4** (木)

東京理科大学 基礎工学部
教授 有村 源一郎 氏

発表会 **14:30~**
見学会 **16:40~** (希望者)
交流会 **17:20~** (希望者)

関連業界・分野
バイオ、情報、化学

植物由来アロマ成分（香り・匂い）であるテルペン類は、抗虫性、抗炎症、抗がん、およびリラクゼーションなどの薬理効果が備わることから、世界中の研究者や医療関係者から注目されています。本交流会では揮発性テルペン等の基礎研究を土台に、有機農法、新たな医薬品（漢方）、機能性食品成分（サプリメント）の開発の可能性について紹介します。

定員 **20名**

場 所

参加費 **無料**

東京理科大学 葛飾キャンパス
研究棟WEST 2階 多目的ルーム
東京都葛飾区新宿6-3-1

交流会参加費：2,000円/人

締切 **2019年6月27日(木)**

FAXまたはE-mailにてお申込みください。

お問合せ・お申込み先

(公財) 千葉県産業振興センター

東葛テクノプラザ
研究開発課 安原

☎ 04-7133-0139

Fax 04-7133-0162

E-mail salon@ccjc-net.or.jp



主 催 (公財) 千葉県産業振興センター東葛テクノプラザ

共 催 東京理科大学 研究戦略・産学連携センター

参加申込書

企業名 _____

住所 〒 _____

職・氏名 _____

事前質問・要望（取り上げて欲しいシーズ等）

TEL _____

E-mail _____ ヘッドライン登録

融資制度や助成金などの支援情報、セミナーや商談会などのイベント情報など、中小企業の皆様に役立つメールマガジン「千葉県産業情報ヘッドライン」を無料で毎週配信しています。登録ご希望の場合は「ヘッドライン登録」を○で囲んでください。

参加目的 今後の連携を検討 _____ 講師・参加企業との交流 _____ 情報収集 _____ その他 (_____)

■ 会社のプロフィール

業務内容 _____

得意技術 _____

ブランドとヒト健康増進サプリメントの開発

東京理科大学 基礎工学部 教授 有村 源一郎

植物由来アロマ成分（香り・匂い）は、植物の生存戦略において重要な役割を担います。我々のよく知る花の香り以外にも、害虫に食べられることでも植物の匂いは放出されます。これらの匂いは、害虫の天敵を惹きつけ、周囲の植物にも「危険」を知らせる警報としての役割を担います。このように、動けない植物は匂いを駆使することで周囲の生物とコミュニケーションを図るのです。

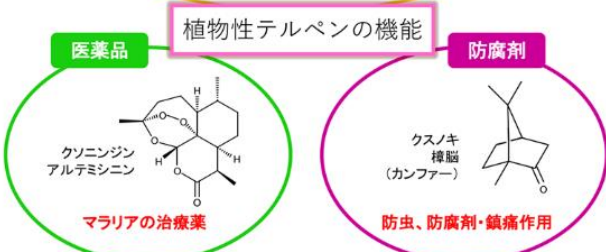
一方で、植物アロマ成分であるテルペン類は、抗虫性、抗炎症、抗癌、およびリラクゼーションなどの多岐にわたる薬理効果が備わることから、世界中の研究者や医療関係者から注目されています。本交流会では、植物が作り出す揮発性テルペン等の基礎研究を土台に、当該成分を利用した有機農法、新たな医薬品（漢方）、機能性食品成分（サプリメント）の開発の可能性について紹介します。

具体的な応用例：

①ミントの近くで野菜類を栽培することで、減農薬化と健康増進成分（イソフラボン等）の増強が実現します。本手法の活用の最大の利益は、栽培種の周囲にミントを配置するだけで栽培種の減農薬化とブランド化を同時に達成できることです。つまり、生産コストの削減と商品価値を高める効果が見込まれます。ミントという馴染みの深い自然素材を利用するため、生産者や消費者にも受け入れられやすいものと考えられます。



「ミントの「おしゃべり」を
「立ち聞き」して身を守る
植物がいる



② 我々の基礎研究により抗炎症作用が明らかにされた、シソの香り、ミントの香り成分、ベタレイン（ナデシコ目の色成分）等のヒト健康増進成分をサプリメントとして商品化することを提案できます。